

# 内海小かわら版号外



## 平成28年度 学校評価について

平成29年3月15日

保護者・全児童・教職員を対象に、今年度の内海小学校の教育についてアンケートを実施し、自己評価として検証しました。学校評価の概要を以下の通り報告させていただきます。紙面の関係で一部の紹介となります。

(アンケート回収数 児童203人 保護者134人〔兄弟でそれぞれ回答する項目については180人〕 教職員16人)

### ① 学校生活について

多くの児童が学校生活を楽しいと感じており、保護者の評価も高いです。しかし、まだまだ「楽しくない・あまり楽しくない」という児童も6%余り

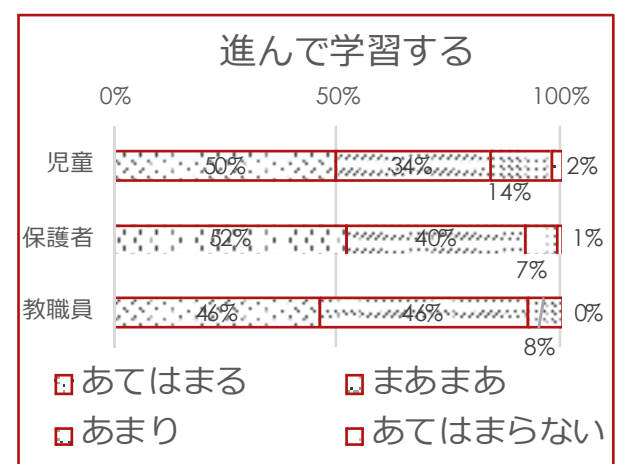
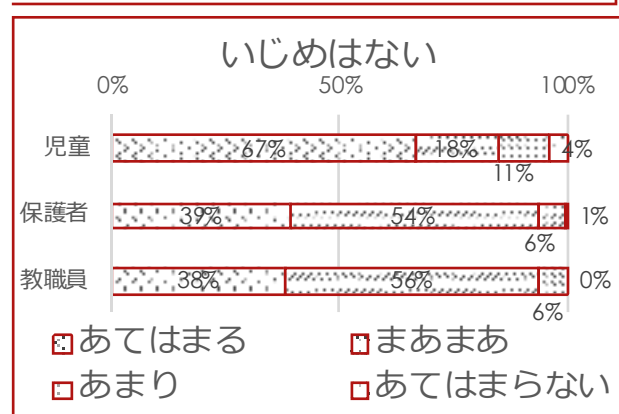
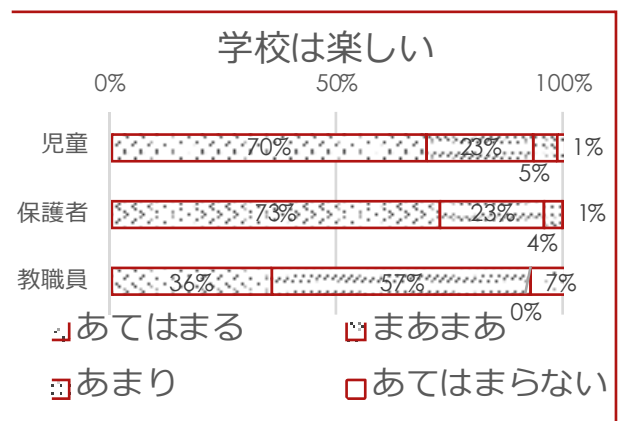
(14名)います。また、いじめについても、「(あまり)ない」と答えた児童が、80%余りいる反面、少なからずいじめがあると感じている児童は、15%(32名)いるのが現状です。

無記名のアンケート調査を行い、実態を把握し、学期ごとに教育相談を実施し、児童の悩みなどを聴く機会を設けてきましたが、まだまだ、改善すべき点もあります。学校が楽しくないと感じている児童やいじめを見過ごすことなく、今後とも教師がきちんと子どもたちの声を聴き、声をかけていくようにしていきたいと思えます。

### ② 学習面について

学習に意欲的に取り組んでいるかどうかについては、80%を超える児童が意欲的に取り組んでいると答えており、特に保護者の評価は、昨年度より大きく向上しています。しかし、「(あまり)意欲的でない」と答えた児童も16%(33名)おり、今後とも魅力的な授業づくりを通していっそうの意欲化を図っていきます。

また、基礎学力の向上については、補充授業やチャレンジ学習などの取組などを通して、算数・国語を中心に今後とも取り組んでいきます。



家庭学習については、「宿題など家でもきちんと勉強している。」という児童が90%を超えています。保護者、教職員の評価はやや低くなっていますが、昨年度よりいずれも評価は向上しています。

今年度当初「家庭学習の手引」という冊子を各家庭に配付しましたが、子どもたちの実態を見ると指導の必要があり、活用の仕方を含め、今後とも、発達段階に応じた家庭学習の取組について、定着を図る必要があると考えています。

「進んで自分の考えを発表する」という質問については、昨年度に比べて増えていますが、自信をもって発表できない児童もおり、今後も基礎学力を定着させていくと共に、総合的な学習の時間や教科・道徳の授業や行事等の場面で各自が自分の考えを発表できるように授業を工夫していきます。

### ③ 安全面について

風水害・大規模地震等への対応などの面では、昨年度に引き続き、保護者の皆様からは高い評価をいただいています。今年度は、林之峯へのルートが通れない等の場合も想定して、東端の高宮への津波避難訓練を実施したことなどが評価されていると考えます。しかし、今年度は保小中合同の津波避難訓練が予備日を含めて、雨天のため中止となって実施できなかったことや登下校時等の対応などについても、今後とも検討していく必要があると考えます。

### ④ その他

「毎日ホームページなどが更新されて学校や行事での様子がよくわかるようになった」という声がある一方、学級・学年での取組の差や情報セキュリティの問題などについて、保護者からご指摘をいただいています。2月に行われた学校評議員会では、「学校が楽しくない」と感じる児童や「いじめがある」と感じる児童がなくなるように、学校は努力して欲しいとの話がありました。いじめなどの問題については、教育相談やアンケート等の取組を行い、教師間で共通理解を進め、個々の児童の些細な変化をきちんと受け止め、早期対応できるようにしていきます。子どもたちが安心して、伸び伸び生活できるよう、いじめのない学校をめざしていきます。

